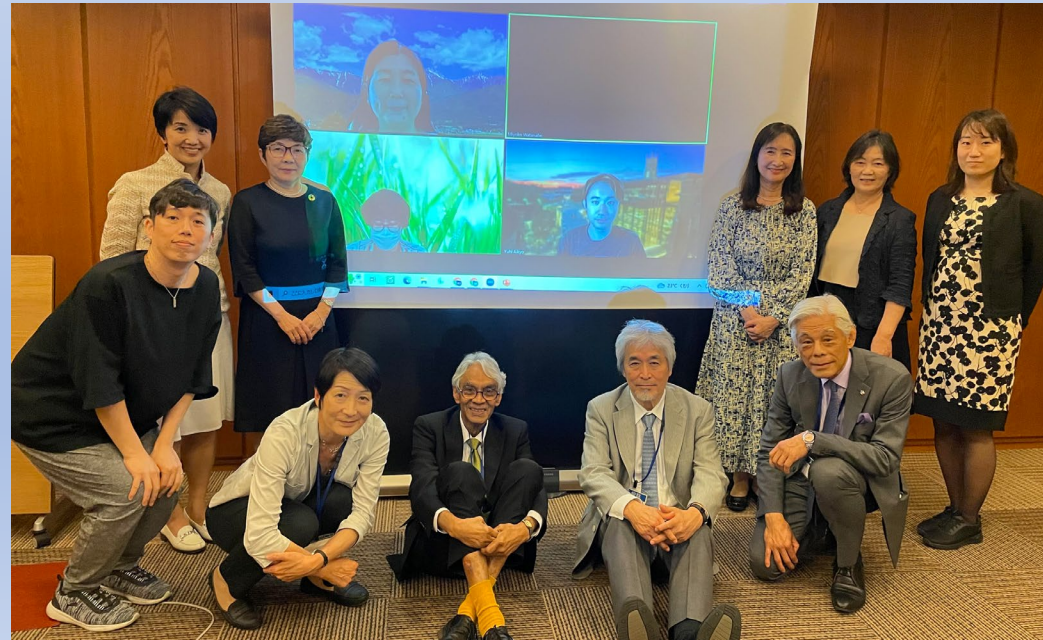




# NPO法人ウッドデッキ 2023年度総会

2022年5月25日（木） 15:00-17:00

日本大学会館 202号室



# 総会の内容

1. 自己紹介、議長の選任
2. 2022年度の活動報告
3. 2023年度の活動計画
4. 意見交換
5. 写真撮影

# 1. メンバー自己紹介

相京祐飛(Zoom) 秋山咲恵 石塚真由美(Zoom) 井関祥子

小浦節子 近藤誠一(新入会員) 塩田佳代子(委任状)

鹿野豊(委任状) 高瀬堅吉 辻明子(Zoom) 濱口道成

森田純恵(新入会員) 安田仁奈 山極壽一 渡辺美代子

CASSIM Monte WIECZOREK Iris(委任状)

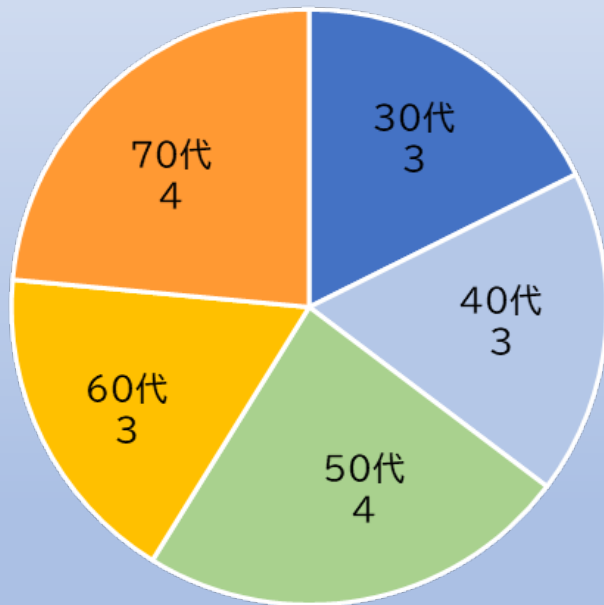
議長の選任：渡辺

議事録署名人2人の選任：秋山、小浦

議事録・メモ作成者の選任：辻

# メンバー分布

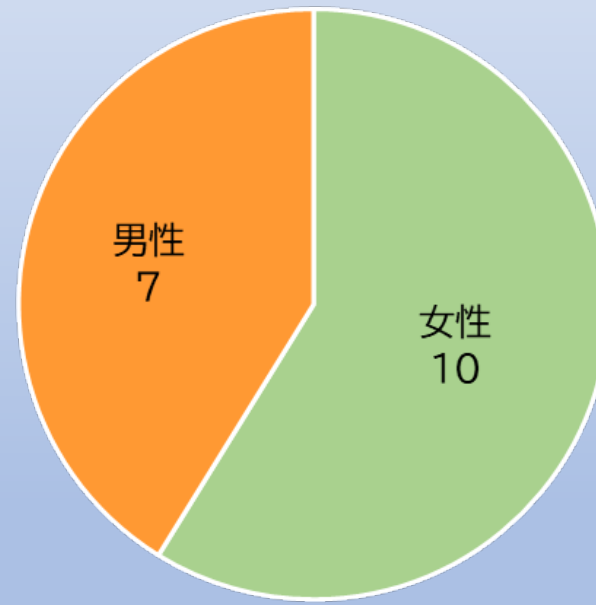
## 想定年代



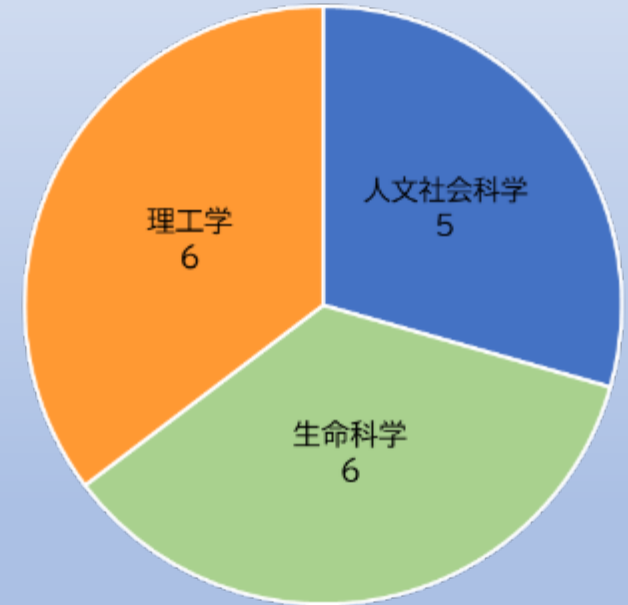
## 居住地



## 性別



## 専門分野



# 2. 2022年度活動報告

## アニュアルレポート目次

1. ビジョン
2. 創設メンバー
3. 創設経緯
4. 事業報告
  - ロゴの作成
  - ホームページの作成
  - 設立記念シンポジウム企画・実施・報告
  - 企業の協賛・エコシステム構築等
  - 若手意見交換会
  - 規程類の策定
5. 会議報告
6. 収支報告



# ビジョン

今、日本社会が直面している課題は山のようにあり、  
それらは時代の転換点特有のものばかりです。

これからは、地球環境を守り、今あるものを大切に、  
人々が幸せに生きていくための新しい方法が求められます。

そこには、新しい学際的で総合的な科学の力、  
社会の課題を当事者として受け止める科学者の力が必要です。  
変化を起こすのは、未来に責任を持つ若い科学者です。

若い科学者が様々な世代の科学者や市民と語り合い、  
新たな未来への道筋をつくるために、  
私たちWood Deck (ウッドデッキ)は多くの人々が安心して自由に、  
そして科学的に議論する場を提供します。

# 設立メンバー

代表理事  
渡辺美代子



理事  
濱口道成



理事  
山極壽一



理事  
CASSIM Monte



理事  
WIECZOREK Iris



監事  
秋山咲恵



事務局ディレクター  
辻明子



シンポジウムマネージャー  
鹿野豊



企画広報マネージャー  
石塚真由美



シンポジウムマネージャー  
井関祥子



企画広報マネージャー  
相京祐飛



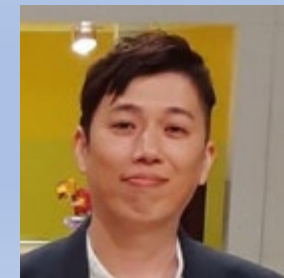
企業パートナーマネージャー  
小浦節子



プロジェクトマネージャー  
安田仁奈



企業パートナーマネージャー  
高瀬堅吉



国際プロジェクトマネージャー  
塩田佳代子





# 設立経緯

2022/2/25	横浜市市民協働推進課（横浜市）に申請案書類一式送付
2022/4/4	横浜市からメールと電話で返事
2022/4/13	横浜市に電話で予算について相談
2022/4/21	横浜市にメールで再相談
2022/5/9	横浜市からメールで返事
2022/5/15	横浜市にメールで再々相談
2022/5/19	横浜市から電話で返事
2022/5/20	設立総会開催
2022/5/22	横浜市に総会議事録送付
2022/5/26	横浜市より電話で連絡
2022/6/6	横浜市にメールで回答提出、修正依頼の連絡
2022/6/7	横浜市にメールで修正版提出
2022/6/9,10	横浜市に電話で問い合わせ
2022/6/22	横浜市から電話とメールで微修正依頼

2022/6/23	横浜市に申請書一式送付
2022/7/1	横浜市から電話で不備書類の連絡 追加書類送付
2022/7/6	横浜市から申請書受理連絡
2022/8/23	横浜市から電話で認証確認の連絡
2022/8/24	横浜市から認証通知書送付、受理
2022/8/26	横浜市法務局に登記書類一式提出 【設立日】
2022/8/30	横浜市法務局より電話で修正依頼
2022/8/31	横浜市法務局に修正書類提出
2022/9/5	国税庁法人番号管理室から法人番号指定通知書送付、受理
2022/9/6	横浜市法務局にて印鑑証明書と登記事項証明書を申請、入手 横浜市に登記完了の届出
2022/9/14	横浜銀行に口座開設申し込み
2022/9/30	横浜銀行に口座開設
2022/9/28	戸塚税務署に法人設立・開設届出

# 事業報告

## ロゴの作成



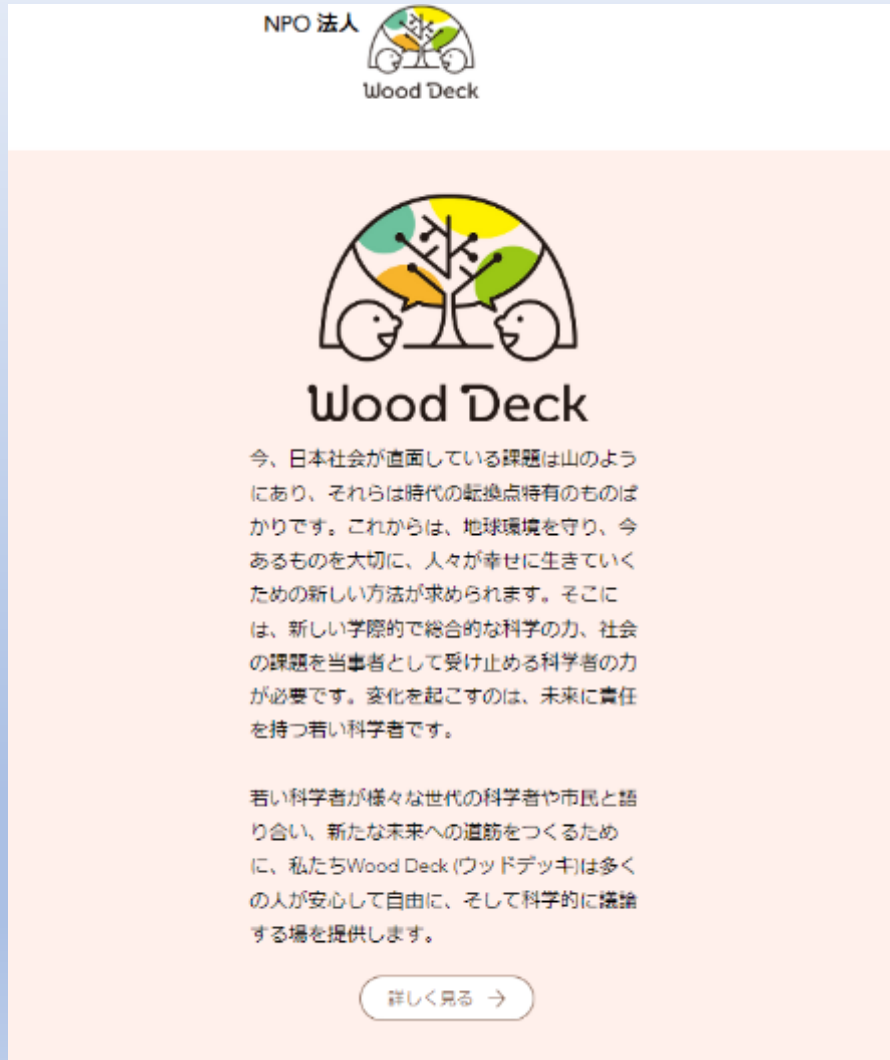
Wood Deck

ロゴのデザイナーである（株）かもめプランニング川井デザイナーとオンライン会議を行い、ロゴ作成にあたりウッドデッキの組織とロゴのアイデアを説明（2022/9/27 8:45-10:00 JST、2022/9/26 19:45-21:00 EDT、参加：石塚、相京、渡辺）

先方からロゴ5案をもらい、3案に絞り込み（2022/10/7-17）

会員アンケートを実施し、その投票結果から最多案をロゴに決定（2022/10/27）

# ホームページの作成



企画広報マネージャーが外部にホームページ作成依頼を議論した上、Wixの有料プランを用いることを提案し、決定

wooddeck.org のドメインを取得

<https://www.wooddeck.org/>

Webページ作成の経験をもとにホームページの大枠を作り、自己紹介ページなどホームページの詳細部分を作り体裁を整え、公開（2022/10/20）

以後の更新は企画広報マネージャーが随時実施

# 設立記念シンポジウムの企画・実施・報告



Wood Deck  
NPO法人ウッドデッキ 設立記念シンポジウム

2022 12.12 mon  
13:00-16:30  
場所：総合地球環境学研究所+オンライン視聴

テーマ  
世代間ギャップをどのように埋めるのか？  
司会：片岡祥子 / 東京理科大学教授 森野善 / 群馬大学准教授

SYMPOSIUM PROGRAM

GREETINGS  
13:00~13:15  
●開 演：遠辺美代子 ウッドデッキ代表理事  
●開 演：山崎真一 総合地球環境学研究所所長  
●シンポジウム趣意説明：森野善 群馬大学准教授

TALKS  
13:15~14:00  
●シニア：モンチ・カセム 国際教養大学理事長・学長  
●中 年：寺本孝徳江 (氏) 鳥取県立総合計画開発高度マネージャー  
●若 手：橋山健二 東京理科大学大学院フェリスカレッジ准教授  
14:00~14:10 休憩

DEBATES  
14:10~15:10  
●メタバースによるアクティブディスカッション  
15:10~15:15 休憩

DISCUSSION  
15:15~16:15 総合討議  
●各世代からのフィードバック  
●一世代を超えた意見交換  
●アクションプランの提案

CLOSING  
16:15~16:30  
●ウッドデッキの紹介：遠辺美代子 WO 代表理事

Wood Deck 2022 12.12 Mon Symposium

主催 NPO法人 ウッドデッキ 申込 参加登録はこちら  
共催 総合地球環境学研究所 <https://www.wooddeck.org/symposium>

法人設立総会にて設立記念シンポジウムを総合地球環境学研究所（地球研）で開催することを決定（2022/5/20）

ウッドデッキ若手意見交換会にて「世代間ギャップ」をテーマでシンポジウム開催が提案（2022/6/28）

シンポジウムマネージャーのオンライン会議にて「世代間ギャップをどのように埋めるのか」のテーマ、シンポジウムの形式や進行について打ち合わせを実施（2022/10/1）

地球研にて会場、設営、進行などについて打ち合わせ（2022/10/28）



ウッドデッキ設立記念シンポジウムを総合地球環境学研究所（地球研）

との共催でハイブリッド型で開催（2022/12/12）

参加は現地で16名、オンラインで60名弱

世代間ギャップについての問題共有や問題解決の方法について討議を実施

モンテカセムさん、寺本華奈江さん、楠山譲二さんが話題提供、その後参加者

全員がメタバースでアクティブディスカッション、最後に総合討論によって世代間

ギャップの解消のための方策を検討し、以下の議論を実施

完全なアバターでルールを遵守できれば、本音議論の有効なツールになり得る、

メタバースによる議論はきっかけとしてはよいものの、対面で時間をかけて議論する

ことが重要

総合力を養うことが必要、そのためには経験も必要、シニア世代は自身の経験を

わかりやすく説明し、若手研究者は直接的な効果や効率重視の考えから一步

離れ、経験から得られる様々な要素を体験することが大切



# YouTubeによる告知



プレスリリース

# YouTubeによる当日配信



NPO法人ウッドデッキ設立シンポジウム [2022/12/12]

# ホームページでの報告

【12/12 (月) 13:00 - 16:30】NPO法人ウッドデッキ設立記念シンポジウム

世代間ギャップをどのように埋めるのか？

2022年5月に設立したNPO法人ウッドデッキ（代表理事：渡辺美代子）の設立記念シンポジウムを総合地球環境学研究所（所長：山崎隆一）との共催で開催します。当日は京都府京都市にある総合地球環境学研究所からオンラインで配信いたします。

2022年12月12日 (月) 13:00 - 16:30 の日曜でNPO法人ウッドデッキの設立記念シンポジウム「世代間ギャップをどのように埋めるのか？」を総合地球環境学研究所と共催で行います。世代間ギャップを感じる方、知りたい方はどなたでも大歓迎ですので、皆さまのご参加をお待ちしております。但し、一般の方の参加方法に関してはオンライン視聴のみになります。詳細と参加登録方法はNPO法人ウッドデッキのホームページでご確認ください。 <https://www.wooddeck.org/ja/symposium>

コンセプト  
世代間ギャップについて、世代間で認識の差があるのではないかという疑問を共有し、認識の差について明確にし、その後ギャップをどのように埋めていくかアクションプランを考案するパネルディスカッションを行います。その方策として、参加者がアクティブに議論し、この問題を体験できるようなメタパースを活用した問題共有を試み、その後のパネルディスカッションへとつなげていく予定です。

主催：NPO法人ウッドデッキ (WD)

第1回シンポジウムの報告書を掲載しました。

12月に開催した第1回キックオフシンポジウムの**実況報告書**を掲載しました。シンポジウムのページには[こちら](#)からアクセスできます。

Wood Deck  
NPO法人ウッドデッキ 設立記念シンポジウム  
2022 12.12 mon  
13:00-16:30  
場所：総合地球環境学研究所+オンライン視聴

テーマ  
世代間ギャップをどのように埋めるのか？

# 神奈川新聞に紹介記事

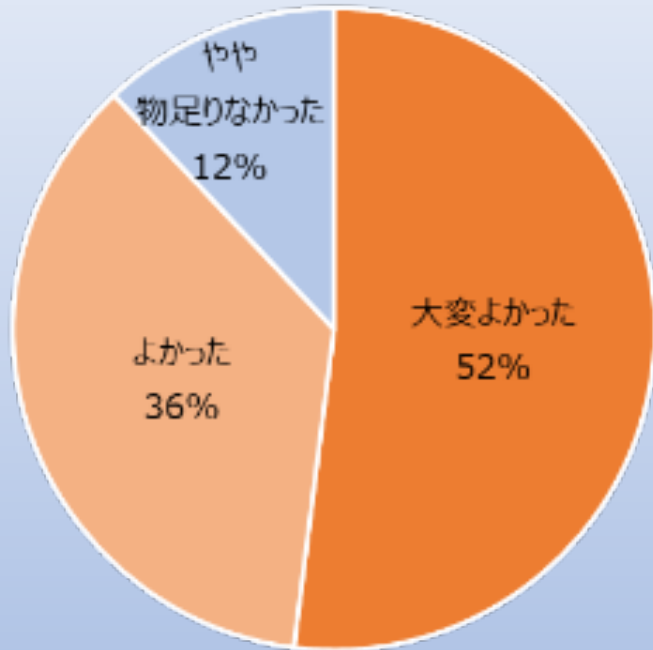
【メディア掲載】神奈川新聞にて、当NPOの設立と設立記念シンポジウムの様子が紹介されました

当NPO設立と、2022年12月に行われたWoodDeck設立記念シンポジウムの様子が、2023年1月4日（水）の神奈川新聞にて紹介されました。

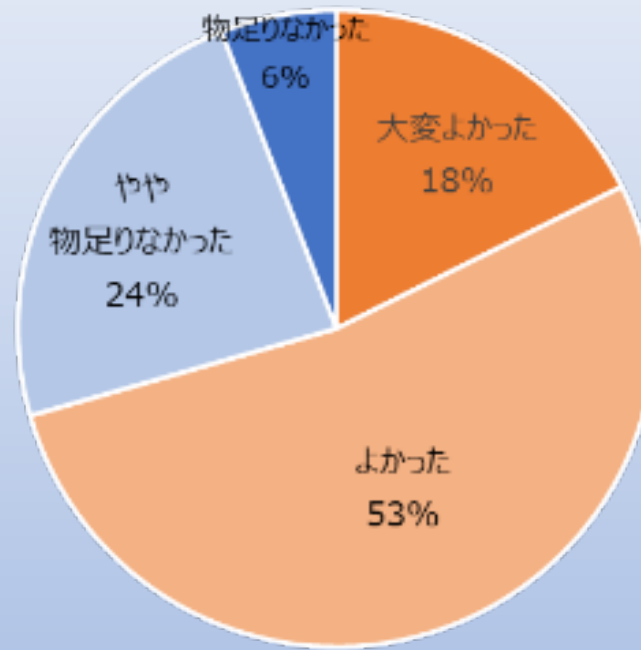
●掲載記事 神奈川新聞（電子版・有料）  
<http://www.kanaloco.jp/news/social/article-960271.html>

# シンポジウム参加者アンケート結果

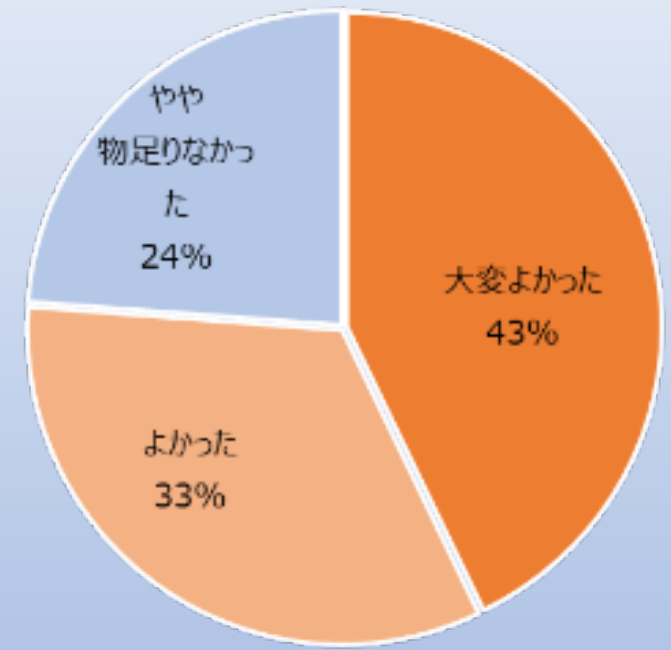
## 講演



## メタバース議論



## 総合討論



### 自由記述例

- ・メタバースのディスカッションが楽しかったです。知らない方とお話すると観点が変わります。
- ・理系大学生として参加しましたが、文系の方々の話はとても新鮮で、いろんな観点から話を聴講できて楽しかったです。
- ・大変面白い試みで、是非継続して欲しい。
- ・メタバースを自由にポジティブに使いこなすには、自分の技量が足りなかった。活用できたら有益なシンポジウムだと感じる。



# 企業の協賛・エコシステム構築



「科学の力で未来をもっと豊かに」の  
ビジョンを掲げる日本電子株式会社に  
本法人の設立趣旨に賛同いただき、  
協賛いただきました

今後協賛いただく企業を数社選定し、  
ウッドデッキの活動を広報、協賛を募る  
予定

# 若手意見交換会

ウッドデッキの活動について若手意見交換会で議論

(会場：zoomによるオンライン会議、2022/6/28 9:00-11:00 JST, 2022/6/27 20:00-22:00 EDT、

参加：相京、塩田、鹿野、高瀬、安田)

議論から以下について提案

1) ウッドデッキの運営・活動の担当を決めて活動開始

2) シンポジウムのテーマとして「世代間のギャップをどのように埋めるか？」

議論では本音の意見を引き出す仕掛けが必要

エンターテインメント性のあるメタバースを活用し、シニアと若手の交流を行う企画を用意

この場合、海外からの参加も可能

3) メンターの紹介、留学に関する情報提供、留学生ネットワークの構築も活動の候補

ターゲットは伸びしろのある学生（ポテンシャルの高さを感じる等）

一週間海外体験のプログラム提供

ポテンシャルの高さは成績では測れないので、選抜要件に成績を入れないのが一案

# 規程類の策定

## 特定非営利活動法人ウッドデッキ 個人情報保護方針 (プライバシーポリシー)

定款に加え、謝金規程と個人情報保護方針を策定

謝金規程

第2回理事会（2022/12/12）にて了承

個人情報保護方針（プライバシーポリシー）

第2回理事会（2022/12/12）にて了承

### 特定非営利活動法人ウッドデッキ 謝金規程

#### 規程第1号

(目的)

第1条 この規程は、特定非営利活動法人ウッドデッキ（以下「当法人」という。）の事業に伴う謝金の支払いに関して必要な事項を定めることを目的とする。

(適用範囲等)

第2条 本規程は、当法人での講演講師とパネリスト（以下「講師」という）に対する謝金に適用する。

(謝金等の支払基準)

第3条 講師謝金は、原則として10,000円の標準単価を適用する。

2 講師謝金の支払対象とする時間は、移動時間を除いた実働時間とする。

3 講師謝金の支払単位は1時間程度とする。

4 ただし、特別な事情がある場合には、この標準単価を適用せず、理事会にて審議し決定する。

(謝金の支払方法)

第4条 謝金は支払い対象者が指定する金融機関の口座に振り込む方法あるいは現金により支払う。

2 謝金の支払いにあたっては、当法人は法令の定めるところに従って所得税の源泉徴収を行ったうえで、その残額を支払う。

(費用)

第5条 交通費及び宿泊費を要した場合は、当法人が支払う。ただし、特別な事情の場合にはその限りではない。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会の決議により行うものとする。

附則

この規程は、2022年12月12日から施行する。

本人」という。)、は、円滑な運営に必要な範囲で、社員・利用者等の情報を収  
において収集した情報は、利用目的の範囲内で適切に取り扱い、個人情報の  
する法律施行令(以下「法令」という)に従って、以下のプライバシーポリシー

に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別できる

本人の意思による情報の提供(登録)を原則とし、「法令」に基づく場合を除  
きます。  
とするために必要な範囲内で利用いたします。

もし、保有する個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止のために、必要かつ  
次第に努めてまいります。  
る個人情報を第三者に提供いたしません。  
委託先においても同様に適切な対策を講じます。

ス情報をアクセスログという形で記録しています。アクセスログは、IPアド  
イス名等の情報を含んでいますが、特定の個人を特定できる情報は一切含  
脱性の向上やウェブサイトの保守管理に利用し、それ以外の目的のために使

# 会議報告

## 総会

開催日時：2022/5/20（金）15:00–17:00

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋 およびzoomによるハイブリッド

出席：15名（うち実参加(会場)：9名、実参加(zoom)：6名）

議事および議決結果：設立の必要事項と活動について



## 理事会

第1回 開催日時：2022/10/14（金）10:00–11:00 会場：zoomによるオンライン会議

出席：5名（うち実参加(zoom)：3名、委任状：2名）

議事：担当、シンポジウム、謝金規程、寄付金、設置報告、ホームページ等

第2回 開催日時：2022/12/12（月）12:00–12:40 会場：総合地球環境学研究所 会議室

出席：6名（うち実参加(会場)：3名、委任状：3名）

議事：謝金規程、個人情報保護方針、会計、ホームページ等

## 若手意見交換会

開催日時：2022/6/28 会場：zoomによるオンライン会議

## シンポジウム反省会・報告会

開催日時：2022/12/12（月）17:30–20:00

2022/12/13（火）9:00–11:00

会場：総合地球環境学研究所 会議室 出席：15名

会場：ザ・プリンス 京都宝ヶ池 出席：7名

# 決算内容は決算報告書（別紙）に記載

## 収支報告

収入	寄附金				¥1,000,000	
	合計				¥1,000,000	
支出	事業費	業務委託費	¥135,880	管理費	会議費	¥64,940
		謝金	¥68,754		旅費	¥5,070
		会議費	¥37,240		通信費	¥33,165
		旅費	¥322,112		消耗品費	¥60,258
		通信費	¥29,243		広告費	¥5,940
		広告費	¥64,190		支払い手数料	¥3,943
		交際費	¥90,000		設立費	¥18,003
		支払い手数料	¥3,327		研修費	¥8,000
		合計	¥750,746		合計	¥199,319
	合計				¥950,065	
収支				¥49,935		
次期繰越正味財産				¥49,935		

# 2022年度総会の実施計画フォローアップ

## 2022年度

### 事業

- ①若手の提案検討⇒**実施**
- ②シニアによる若手のメンタリング  
⇒**未実施**
- ③公開シンポジウム@京都  
⇒**実施**
- ④本日の議論から⇒**実施**

### 法人立上げ

- ①法人申請、登記、  
銀行口座開設等⇒**実施**
- ②HP開設⇒**実施**
- ③会計対応⇒**実施**

## 2023年度

### 事業

- ①若手からの提案の実現
- ②シニアによる若手のメンタリング
- ③公開シンポジウム@秋田
- ④ワークショップ@横浜
- ⑤本日の議論から

### 法人管理

- ①HP更新・充実
- ②寄付金、会員の拡大

## 2024年度

### 事業

従来からの継続と見直し  
新たな事業

### 法人管理

従来からの継続と見直し  
認定NPO法人申請  
⇒寄附の税額控除  
パート事務局採用

# 3. 2023年度活動計画

## 2023年度以降の実施計画

### 2023年度

#### 事業

- ①公開シンポジウム@秋田
- ②若手提案ワークショップ
- ③理系女子ワークショップ
- ④本日の議論から

#### 法人管理

- ①HP更新・充実
- ②長期計画の検討
- ③寄付金、会員の拡大

### 2024年度以降

#### 事業

- 長期計画の策定
- 従来からの継続と見直し
- 新たな事業

#### 法人管理

- 従来からの継続と見直し
- 認定NPO法人申請  
⇒寄附の税額控除
- 事務局体制の整備

# 2023年度事業計画

## ①若手科学者の育成事業

ア. 若手提案ワークショップ

参加者 20人程度

支出見込み ¥100,000

イ. 理系女子ワークショップ

参加者 30人程度

支出見込み ¥100,000

## ②科学技術の普及事業

ア. 公開シンポジウムの開催

秋田市

参加募集 100人

支出見込み ¥1,000,000



# 2023年度予算 (事業費>管理費)

収入	寄付金	¥2,000,000
支出	合計	¥1,750,000
	<u>事業費</u>	<u>¥1,400,000</u>
	業務委託費	¥200,000
	会議費	¥200,000
	旅費	¥800,000
	講師謝金	¥100,000
	交際費	¥100,000
	<u>管理費</u>	<u>¥350,000</u>
	会議費 (Zoom含む)	¥100,000
	旅費	¥100,000
	通信費	¥50,000
	消耗品費	¥100,000
	当期正味財産増減額	¥250,000
	前期繰越正味財産額	¥49,935
	次期繰越正味財産額	¥299,935

# 2023年度担当

1	シンポジウム企画	森田	井関	鹿野
2	ネットワーク (HP、SNS)	石塚	相京	
3	企業協賛(エコシステム構築含む)	小浦	高瀬	
4	若手意見交換会	高瀬	安田	相京
5	理系女子	小浦	渡辺	
8	事務局 (会計含む)	辻		

# 意見交換

1. 今年のシンポジウム@国際教養大学のテーマと方法
2. 今年度シンポジウム以外の活動  
若手科学者の支援・育成
3. いつ、どこまで、どのように広げていくか  
事業年度2年後には認定NPO法人申請が可能⇒寄附の税制優遇
4. 他にお気づきのこと

# 事務的な確認（含再確認）

1. 旅費は実費、労務費は謝金のみ¥10,000/回
2. 旅費や労務費は年度まとめて支払い
3. 領収書の提出期限
4. メールアドレスを共有